

2019年12月13日

2019年度  
日本建築学会情報システム技術委員会  
情報・システム・利用・技術シンポジウム若手優秀発表賞  
審査報告

中澤 公伯

第42回日本建築学会情報・システム・利用・技術シンポジウムにおける学生・若手技術者などの優れた発表に対し、規定に基づき、優秀発表の審査を行った。審査方法と結果は以下のとおりである。

審査方法

- ・有資格者について、可能な限り事前に調査し、不明な場合は当日確認した。
- ・各セッション2名の審査員が「発表評価表」に従って採点した。
- ・各審査員の評点の偏差値を合計したものを得点とした。
- ・有資格者は35名であり、10名に1名程度という規定に従い、以下の通り、4名を選出した。

**H64 横田芙実子(立命館大) Fumiko YOKOTA (Ritsumeikan University)**

VR空間の印象に及ぼす現実空間とのリンクパターン –VRお風呂–

Linking Patterns between VR and Reality which Affects Impression of VR Space:

Taking a Bath with VR

**H39 竹内貴洋(安井建築設計事務所) Takahiro TAKEUCHI (Yasui Architects & Engineers)**

コンピューショナルデザインとBIMの融合による設計効率向上の試み –ジェネレーティブな構造最適化ツールによるデザイン支援の試み–

Study on Design Efficiency Improvement Utilized Algorithm Design and BIM: Study on Design Support by Structural Optimization Software

**H25 池野和之介(大阪大) Kazunosuke IKENO (Osaka University)**

Automatic Generation Method of Building Mask Images by Using the 3D Model with

Aerial Photograph for Deep Learning: Toward authentic optimal placement system of outdoor loudspeaker for communication of disaster prevention information

**R24 松村貴輝(熊本大)Tatsuki MATSUMURA (Kumamoto University)**

VR とモーションキャプチャを利用した施設維持管理情報閲覧手法の提案

Study on the Method of Displaying Facility Operations and Maintenance Information Using VR and Motion Capture

なお、優秀発表者には委員長名で「日本建築学会委員会委員長の印」を押印して証書を授与し、結果を委員会公式サイト(facebook)に掲載する。